

# CATS ON THE BLACK CAGE



奏 亜希子

成年  
コミック

LE・COMICS

キャッツ オン・ザ・ブラック ケージ

COMICS

CATS  
ON THE  
BLACK  
CAGE

キャッツ  
オン・ザ  
ブラック  
ケージ



奏 亜希子

成年  
コミック

東京三世社

**OF**  
**CATS**  
**ON THE**

**OF**  
**BLACK**  
**CAGE**





9784812605677



1929979008383

雑誌55414-85 定価880円 本体838円

ISBN4-8126-0567-9 C9979 ¥838E



**CATS  
ON THE  
BLACK  
CAGE**

キャッツ オン ザ  
ブラック ケージ

# ●既刊絶賛発売中●



▶【木酔馬】(あせみ)



DO・COMICS 定価840yen



▶【甘水桃】(かんすいとん)

▶【アンソロジー】



DO・COMICS 定価880yen

LE・COMICS 定価880 yen

## 通販御注文方法

■現金書留 ■御注文の書名及び著者名(アンソロジーの場合は号数)、貴方の氏名、年齢、お届け先住所、電話番号を明記の上、下記宛先に代金と送料をお送り下さい。尚、事故防止の為、普通郵便での御送金は絶対になさらないでください。

■郵便振替 ■郵便局備え付けの振り込み取り扱い票を利用し、所定の事項をご記入の上、通信欄に御注文の書名著者名(号数)貴方の年齢を明記して下記郵便口座番号/加入者名宛に代金と送料を御送金下さい。

■代金引換 ■御注文の書名、著者名、(号数)、貴方の氏名、年齢、お届け先住所、電話番号を明記し、代引希望をお書き添えの上、葉書またはFAXで下記宛に御注文ください。代金は商品到着時に配達員へお支払い願います。なお代金には送料及び代引き手数料(計700円)が加算されます。

※現金書留、郵便振替ご利用の際の送料は、1冊330円、2冊380円、3冊以上450円です。

(株)東京三世社通販部・LE85係

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-10-1

郵便為替口座番号/00150-2-184058 TEL 03(3263)2801

FAX 03(3263)2825

※全て成年コミックスです。

LE  
COMICS

C  
CATS  
ON THE  
B  
BLACK  
GAGE

キャッツ  
オン  
ザ  
ブラック  
ゲージ



奏  
亜  
希  
子

成年  
コミック

東京三世社

キャッツ オン ザ ブラック ゲージ

C  
CATS  
ON THE  
B  
BLACK  
GAGE

奏 亜 希 子

成年  
コミック

LE・COMICS





**C** CATS  
ON THE

**B** BLACK  
GAGE

キャッツ オン ザ  
ブラック ゲージ



**C**  
**CATS**  
**ON THE**  
**B**  
**BLACK**  
**CAGE**

# CATS ON THE BLACK CAGE

キャッツ オン ザ ブラック ケージ

**CAT'S #1~#6**



**P5~P100**

**TOKYO-3**  
**LE.COMICS NO.85**  
**AKIKO.SOU**

**P101~P132**

**MISTAKE 前後編**

**PRIMACY**

**P133~P148**



**家族ゲーム**

**P149~P164**

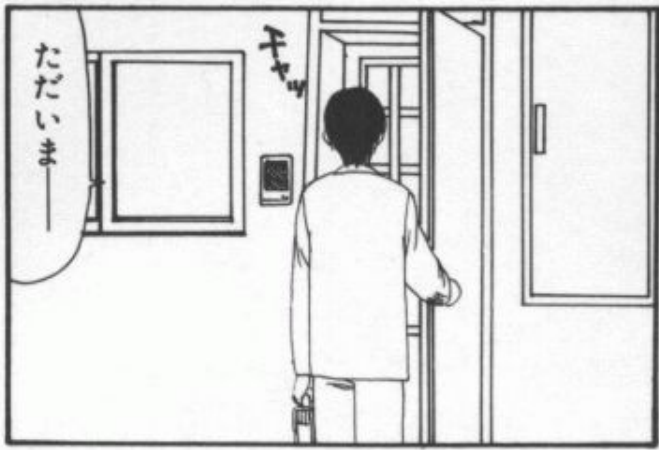
**NON**

# [CAT'S #1]

三年程前  
僕は車で少女を跳ねた

幸い軽いケガで済んだものの  
目覚めた彼女は…  
記憶を完全に失くしていた





お帰りなさい  
俊彦





ちっとも戻って  
こないわ

その…  
記憶はまだ…  
ぜーんぜん



……なあ  
美幸

なに？



でもね…今は別に  
思い出さなくてもいい  
かなって…

え？



だって私  
今俊彦と  
一緒にいられて  
すごく幸せなもの

美幸…

今のまま…  
何も思い出さなくても  
私…

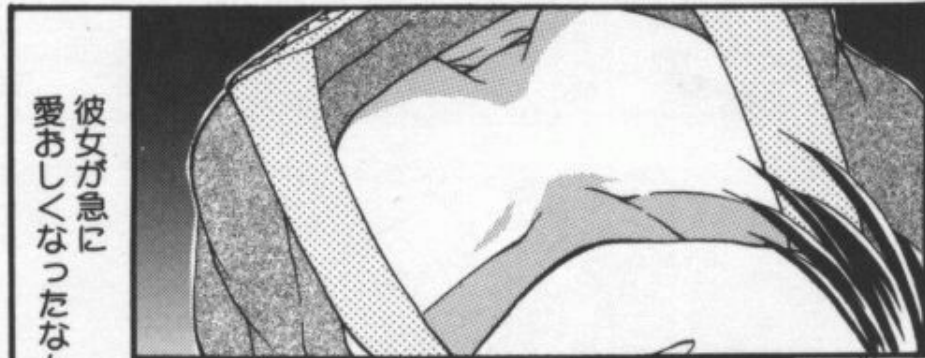
あ…



ん…  
いや…

別に…

と…  
俊彦…っ



彼女が急に  
愛おしくなったなんて

どうしたの？



あっ…

たっ

たっ

たっ

恥ずかしくて  
言えない…





や...  
ふっ  
い

107か



かぐ  
かぐ

俊彦...  
ダメ...

キタナイよお...



く

ひッ



かぐ

すごいね  
もうドロドロ  
だよ

かぐ



かぐ

嫌がってるのは  
口だけなんじゃ  
ないの？



そっ...  
そんな  
こと...

かぐ





ぐわん  
ぐわん



っ  
ああッ!!



あ...あつ

いっ

気持ちいいの？

ぐんぐん



きゅ...きゅ  
きゅきゅきゅきゅ

あつ

ぐんぐん



あついっ

としひこの  
おちんちん  
すごく熱いっ

ぐんぐん

ぐんぐん



あ

あはは



美幸  
ここいじられるの  
好きだろ？

あはは

どうして？



おっばいは  
ダメえっ

あはは

あと…  
尻の穴も  
好きだよ

ほら

カッ  
カッ

わっ  
わっ

だめっ  
だめよう  
俊彦っ…

そんなところ  
いじられたら  
気持ち良くて…

カッ  
カッ

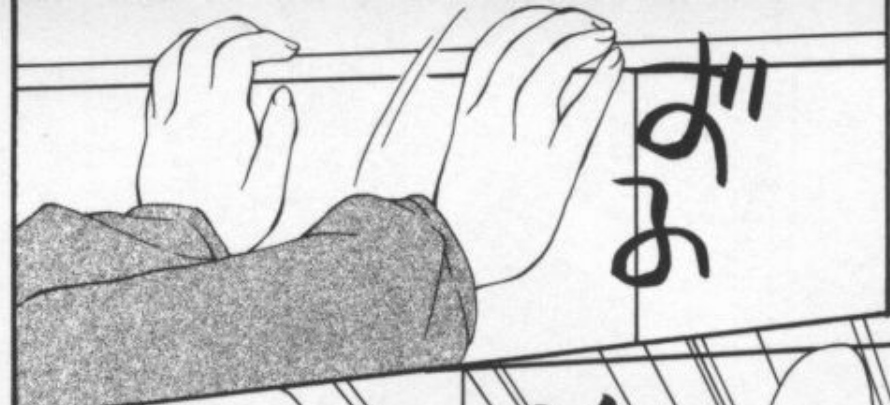
カッ  
カッ

私私…

カッ

ひび

あ…



お  
お

いつちやった?

あ…

僕も  
もう少し  
だから

お

あ…あ

ひび

お

お

あ…

あ…

た





今美幸と  
つながってるよ

あ

触って

ほら



あつ

はっ



あ



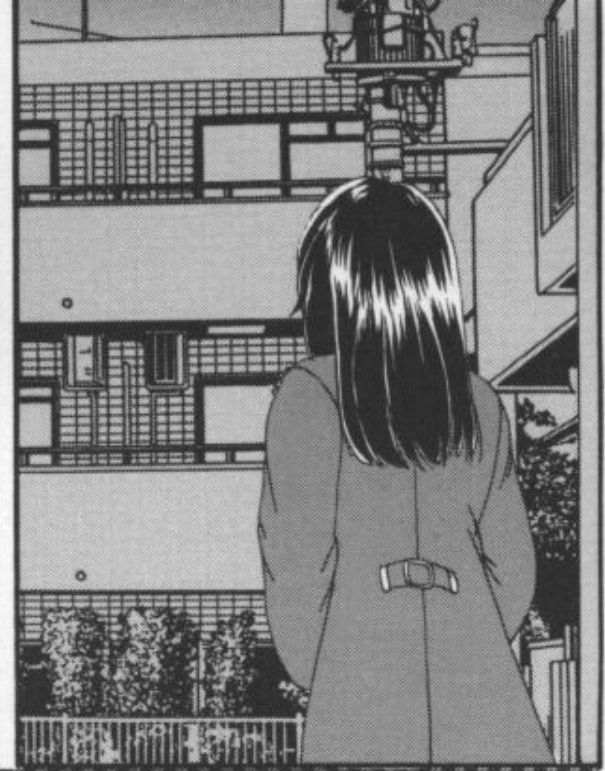
いっ



んっ

ふふふ





あれから  
三年…

俊彦の  
バカーッ!!

コッパッ!!  
コッパッ!!



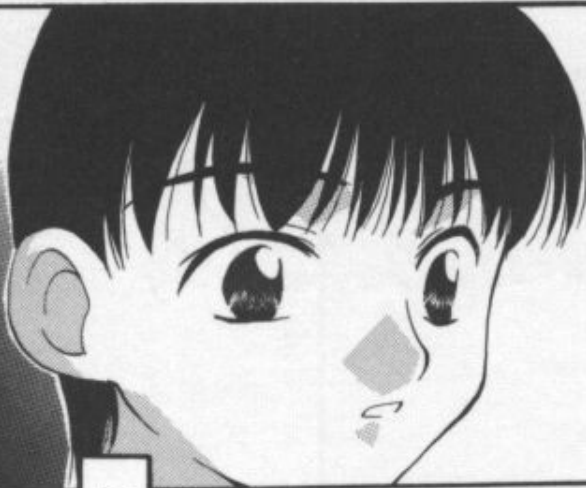
このエプロン  
今日買った  
ばかりなのにー

ごめんってばー

ハンバーグも  
ソーダも買ったよ

僕は  
記憶のない彼女を引き取り  
一緒に暮らす事にした

あれ?

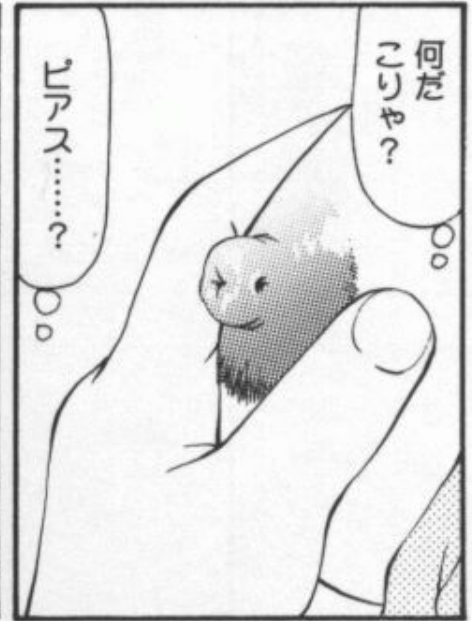


でも…

何?

まい





愛しくて愛しくて  
壊してしまいたくなる...

誰かを愛したら  
一度はそんな想いに  
とらわれる

僕は...彼女に出会うまで  
そんな気持ちを味わった事は  
一度だってなかった



[CAT'S#2]

今までちっとも  
気付かなかった  
ピアスの穴…

何故美幸の体に  
あんな跡が…

今まで真剣に  
考えた事なんて  
なかったけど

あいつは  
記憶を失くす前…

誰かのものだったかも  
しれないって事か？

池本君

榊さん…

どうしたのよ  
難しいカオしちゃって？

え？  
いや…  
別に…

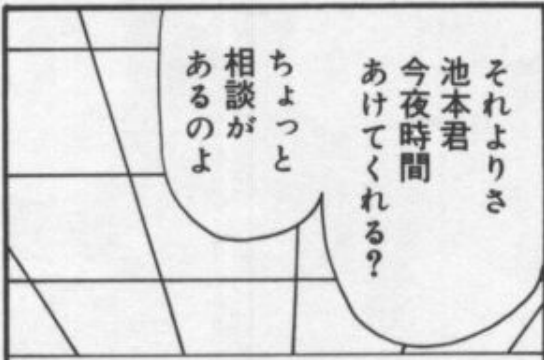
ふうん…

ふわ…





.....  
ひよっとして...  
奥さんと  
ケンカでもした?



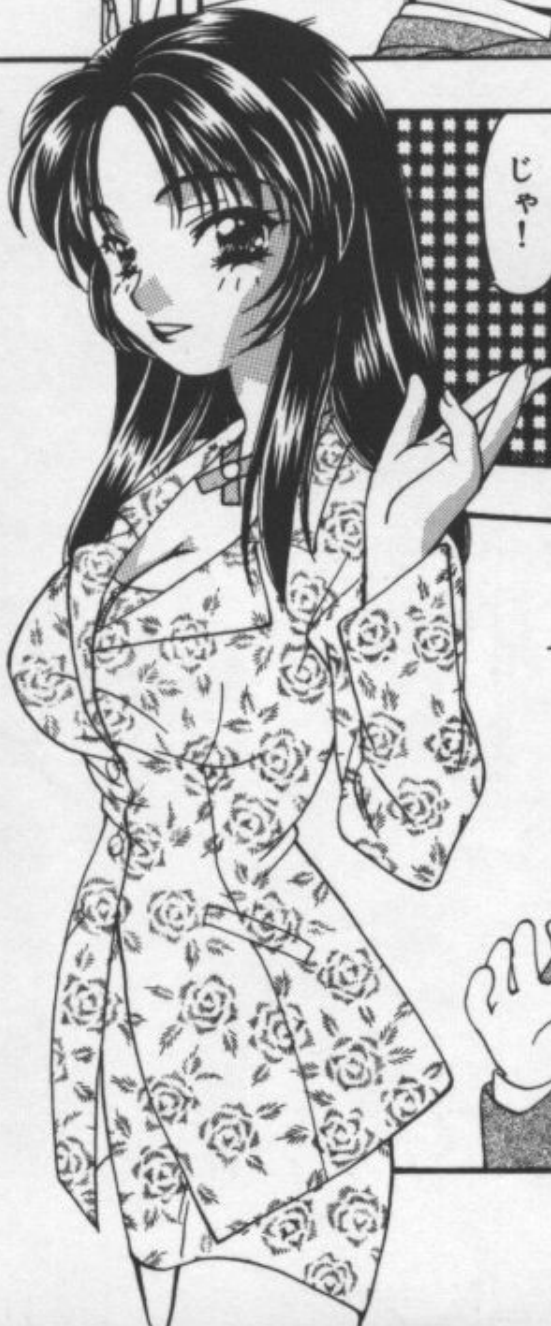
それよりさ  
池本君  
今夜時間  
あけてくれる?  
ちよつと  
相談が  
あるのよ



え!?  
冗談よ  
ジョーダン



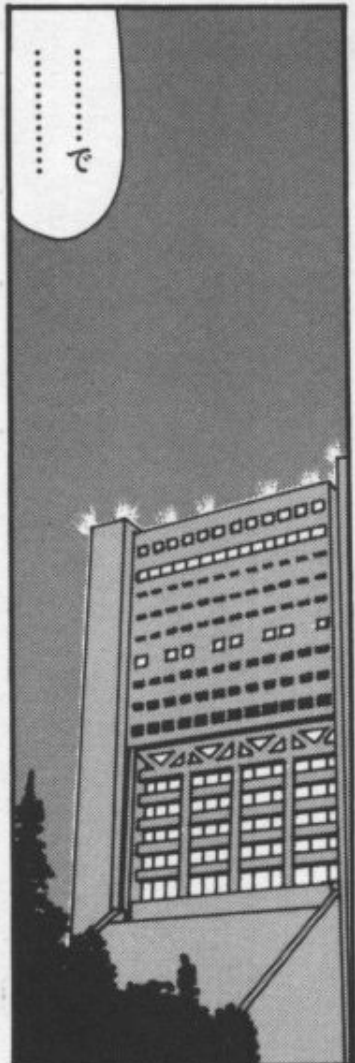
え?そりゃ  
.....まあ...  
別にいいけど  
.....



サンキュ!  
それじゃ仕事  
が終わったらね  
お礼にゴハン  
おごるから  
じゃ!



あ...  
じゃ...  
?



.....で



おかしいな……



目が……  
開かない……

**カタニ**

……やっと見つけたの



どこだ  
ここ……?

ん?

気が付いた?

**アハ**

甘い……  
柑橘系の……  
香水……!?

大丈夫?

**!?**





シヤロー  
借りかかっただけ

フロントに頼んで  
とりあえず  
この部屋に  
運んでもらったのよ

体が  
動かない…



え!?



びっくり  
したわ

突然  
倒れるんだもの



ね?

終電にはまだ  
間があるわ



あ…

!!



だから  
心配しなくても  
大丈夫よ



ゆっくり  
休んでて

!!



おっきい♡

うふふ



お



今から  
すごく気持ちいいコト  
いっぱいしてあげる♡

54

待ってて

お



あっ

う…

はーん



わ子



く…っ



ん

ん

オッパイが  
気持ちいいの？

気持ちいいのね？  
そうでしょ？



あはあ  
スゴイ

また  
カタクなった♡



ああ  
池本君のち○ほ  
すごく熱いわ

きつと  
濃くてドロドロした  
精液がいっぱい  
入ってるのね

ん

ん





くさ

ほら  
いれるわよお

はいつてくとこ  
見せて

.....  
っ

んっ

ああッ

ぬるっ

あ...

あ...





おっき...

は...  
おっき...



おっき

おっき



ち○ぽ  
入りきらないよおっ

おっき

おっき

あ  
おっき...

あんっ

池本君のち○ぽが  
私のま○この中  
かきまわしてゐるのっ

ねえ  
見てる？

んっ

ふっ

見える？  
ねえ？

私のま○こ  
気持ちいい？

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん





ゴッホ  
ゴッホ

あ  
あ  
あ

ゴッホ

“彼女は返して  
まじわら”

眠りに落ちていく途中で  
そんな声が聞こえた  
気がする

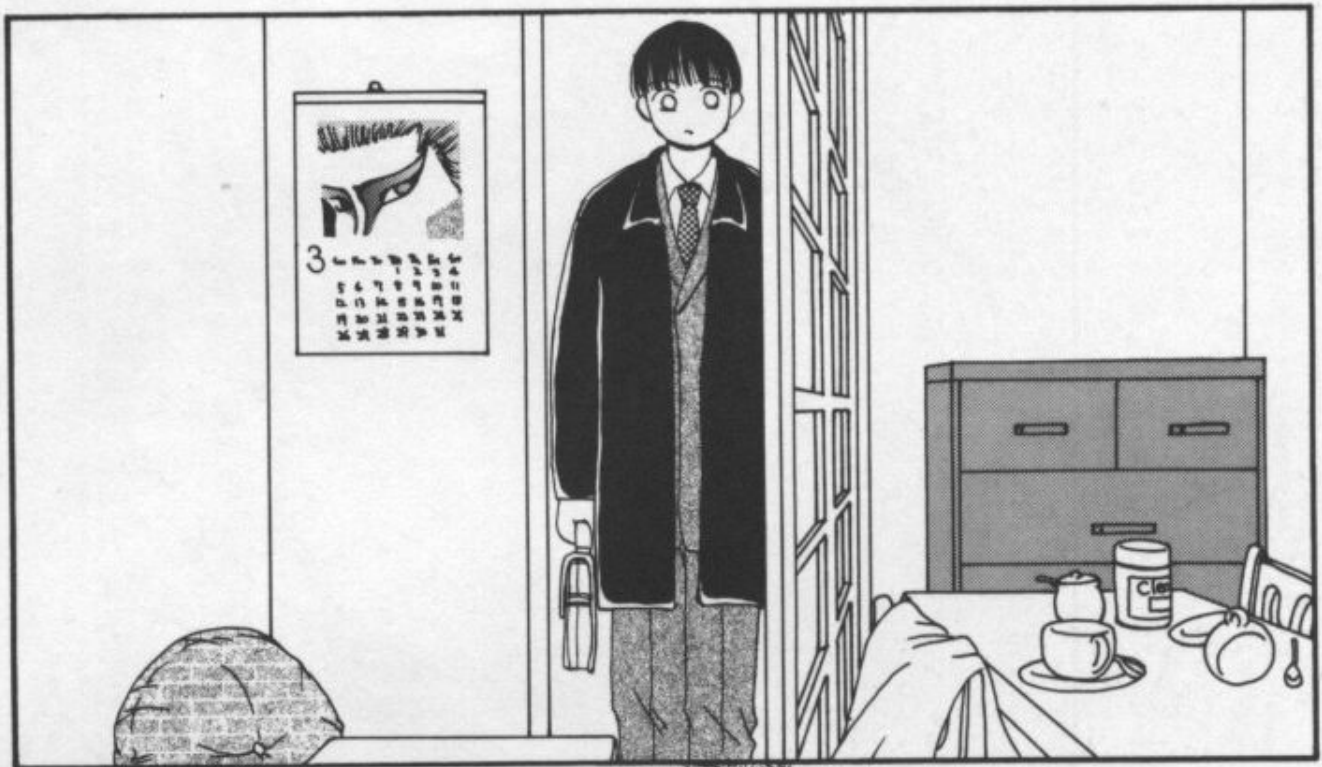


結局僕が家に戻ったのは  
翌日の朝だった

ただいまー

美幸？





美幸は彼女に  
さらわれたんだ



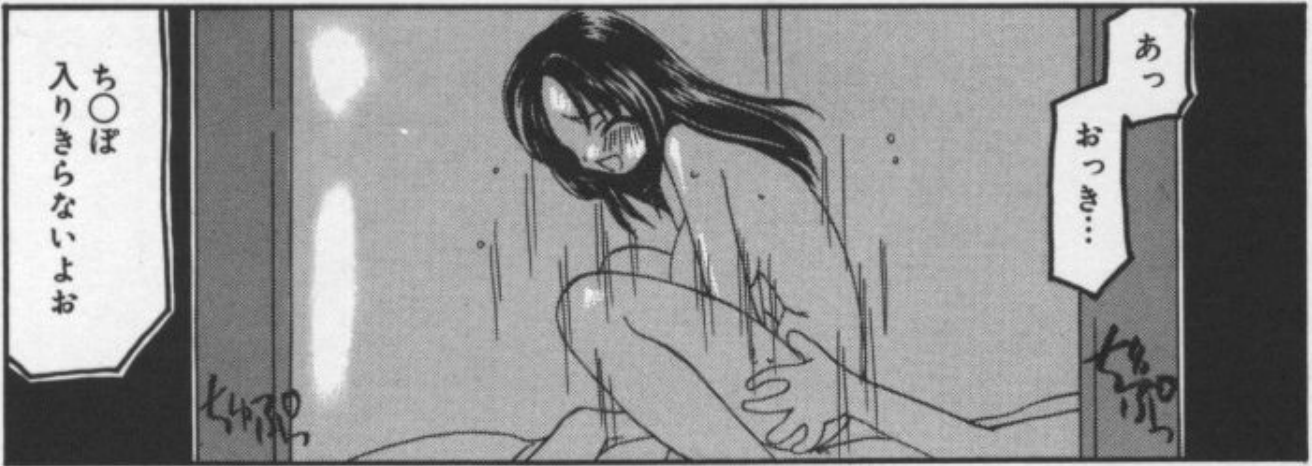
何故かは分からないけど  
僕はそう確信した



神！  
神那緒！

柑橘系の香水…





愛がなければ  
憎しみは生まれない

そう言っていたのは  
誰だったろう

# [CAT'S#3]

その言葉が正しいのなら  
私は彼女をとても愛して  
いる事になる

こんなにも…  
憎んでいるのだから…





彼はね

私に  
あなたを  
ゆずったの



ウソじゃ  
ないわよ



う...そ...

...うそよ  
こんなの...



あなたを  
ちようだいって  
お願いしたら  
一発やらせろって  
言ってきたわ

彼あなたにはもう  
飽きたんだって

だから  
今日から私が  
あなたの主人よ

分かる？

ウソ...  
俊彦がそんな事  
言う筈ない

ウソよ...  
そんなの  
ウソだわ...





きゃっ!!

悲劇



う...  
えうっ...



口答えは  
許さないわよ



ねえ





きゅん

かっ...  
やっ

アナル

あーんっ

アナル

アナル

アナル

やめてええっ!!

いた  
いた  
いた



はあ

はあ

はあ



そう…

ほろ

どうしても…  
思い出せないのね…

はあ



いいわ…

はあ

それなら  
ぶつのは  
やめてあげる



でも…

どうやっても  
思い出してもらから



おま…  
……?



!!



んぶっ!?



!!  
言っておくけど  
歯を立てたら  
承知しないわよ

ぐわん



大人しく  
舐めなさい



んっ

ぐわん

ぐわん

んっ



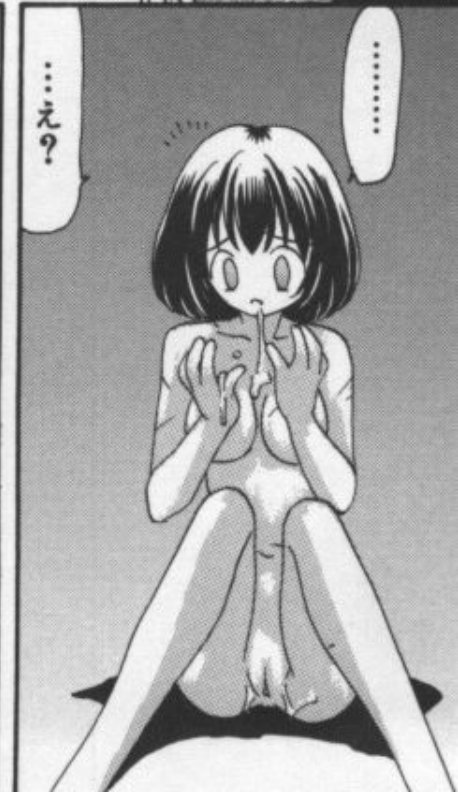
んっ

ぐわん



.....











もっと...

やっ...



ち○ぽだけじゃなくて  
イタいのも  
ちょうだいっ!!

那緒  
もっとおっ!!

那緒っ!!

おま○こ  
もっと  
突いてっ



.....!



肉が裂けても  
知らないわよ!

いつもみたくに  
ぶってあげる

ヒューッ



いいわよ

あっ

ひっ



ひいっ

ヒューッ

ヒューッ

ヒューッ

ひあんっ

ヒューッ





永遠は  
渡さない



にんいん



あら  
池本君

何か用？

あなたと  
幸せになんか

絶対に  
させない…

# [CAT'S #4]



あ…



だれ……？



美幸…

……!?



アッ

この子は  
あなたの彼女じゃ  
ないわ



人違いじゃ  
ないかしら？

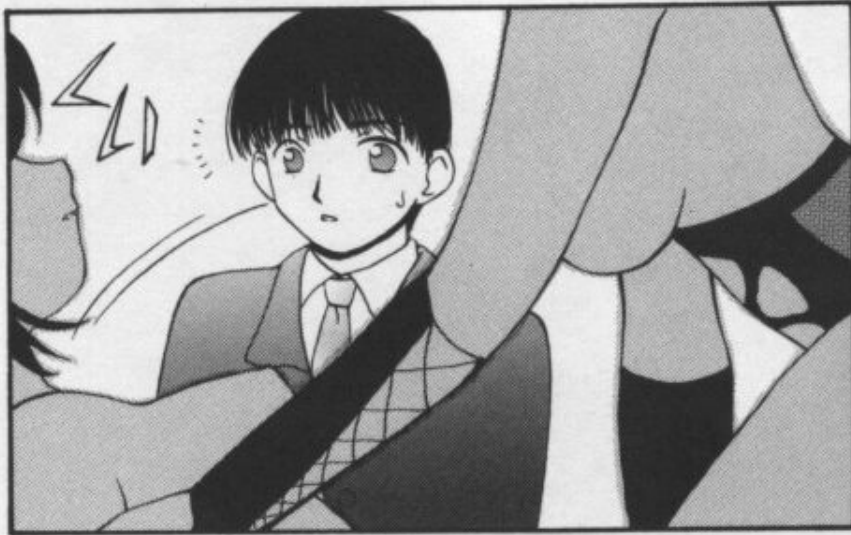


永遠

続きをやるうか



.....え？



ふふ

このピアス…  
覚えてるでしょ？

お前はこれを  
とても気に入って  
たわね

あ



今から  
もう一つ

お前がずっと  
欲しがってた  
ところに  
付けてあげる

え……

おっぱい

ホント？







そう...

じゃあ今からこれをお前が一番感じる部分に突き刺してあげるわ



そこ...あつ  
那緒が...  
いじってる...

クリトリスに...っ!!

ひ

ひく

ん

ん



ああっ

じゃあ

あああ



痛みで感じる  
変態の  
子猫ちゃん

ん







ま  
いいわ

どうせもう  
あなたに用は  
ないんだし



ふうん  
.....



ここへ...  
那緒の  
ち○ぼ  
ちょうだい...



それに  
永遠はここに  
戻ってきた



あ...  
那緒お...  
ねえ...  
もっと...









池本君

ズレ

この子  
お尻も使えるって  
知ってた？

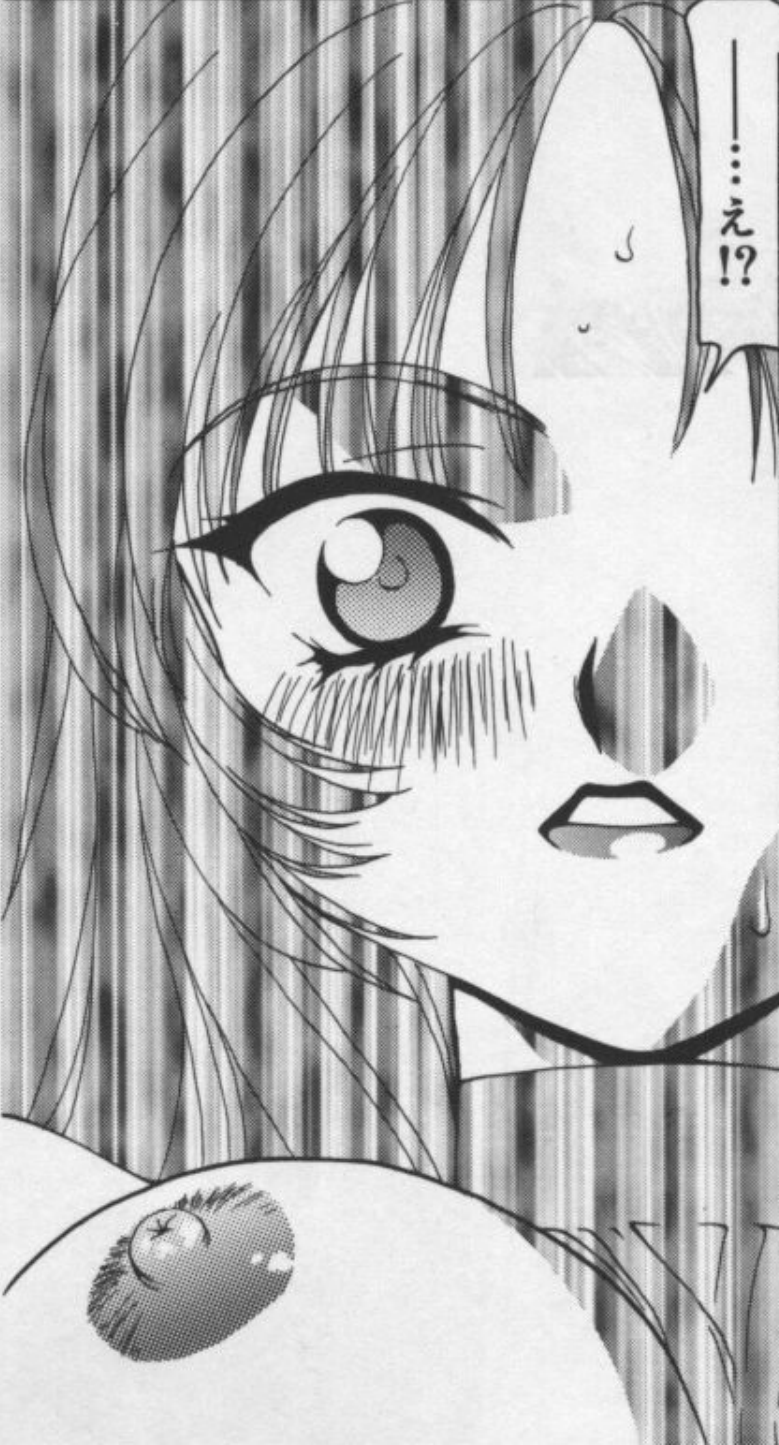
お別れに一度だけ  
使わせてあげるわ

ほら

いらっしやい

ゴックン





あああッ!?



あ

気付いて  
なかったのかい?

僕がさっきから  
反応してたのは  
.....





!?

君なんだよ  
那緒

僕の中に  
知らない  
もう一人の“僕”がいる



そ……  
そんな……

そんな……



その“僕”が

那緒  
オ……

那緒と永遠……  
そして今までの  
僕も……

支配しようと  
していた

あ……あ……

あああっ



や

あっ

あっ



あ…  
イヤ…

あ  
あ  
あ

もう…  
許して…

あ  
あ  
あ



あんっ

あ  
あ  
あ

ひっ

あ  
あ  
あ



イヤだね

“お別れに  
使わせてあげる”？

あ  
あ  
あ



あ

ああっ

冗談じゃ  
ないよ

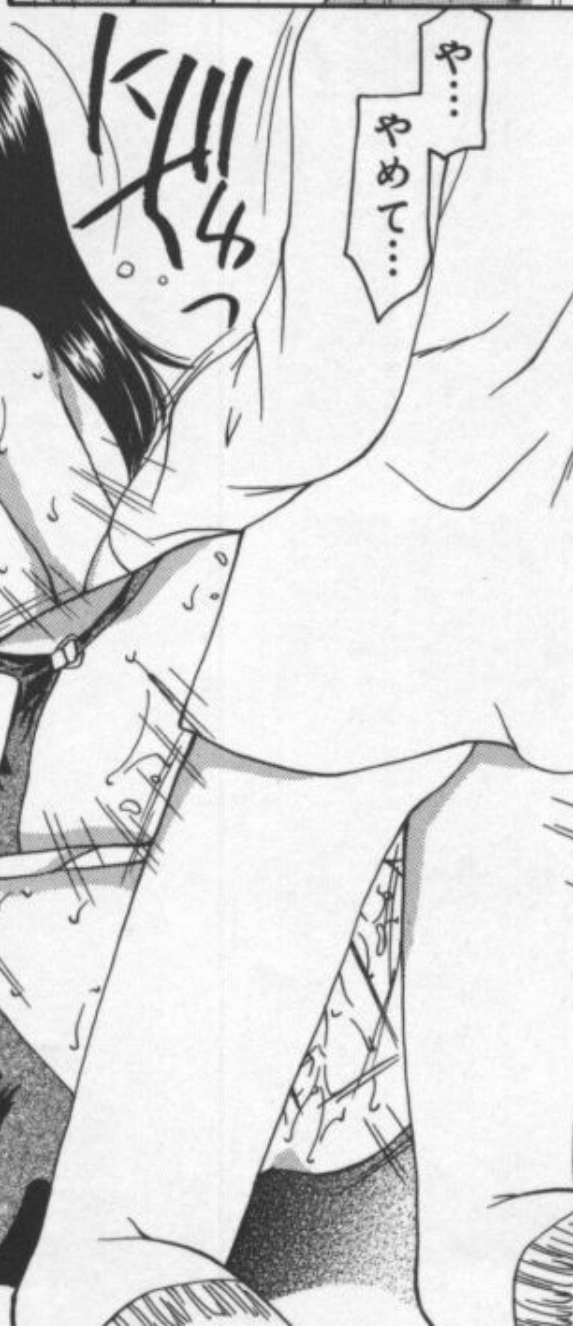
# [CAT'S #5]

君にとっての  
今までの僕は何だったの？

そして  
これからの僕にとっての  
君は…？









どうせイッた事なんて  
一度もないんだろ？



どうして？  
イけば  
いいじゃん



!!  
イヤあつ

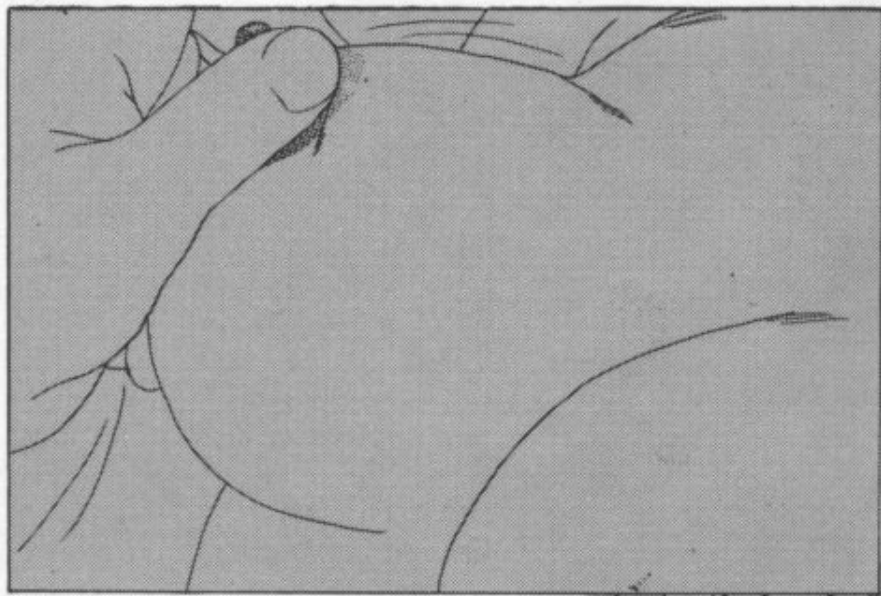


いいつ  
ステキつ

あ



那緒オ  
きもち  
いいよあつ



結局  
あの時も  
あの時も

あん

んんん

美幸が見てたのは  
僕じゃなかった

彼女がずっと  
見ていたものは...

きん

んんん

ダメ...

やあっ

んんん







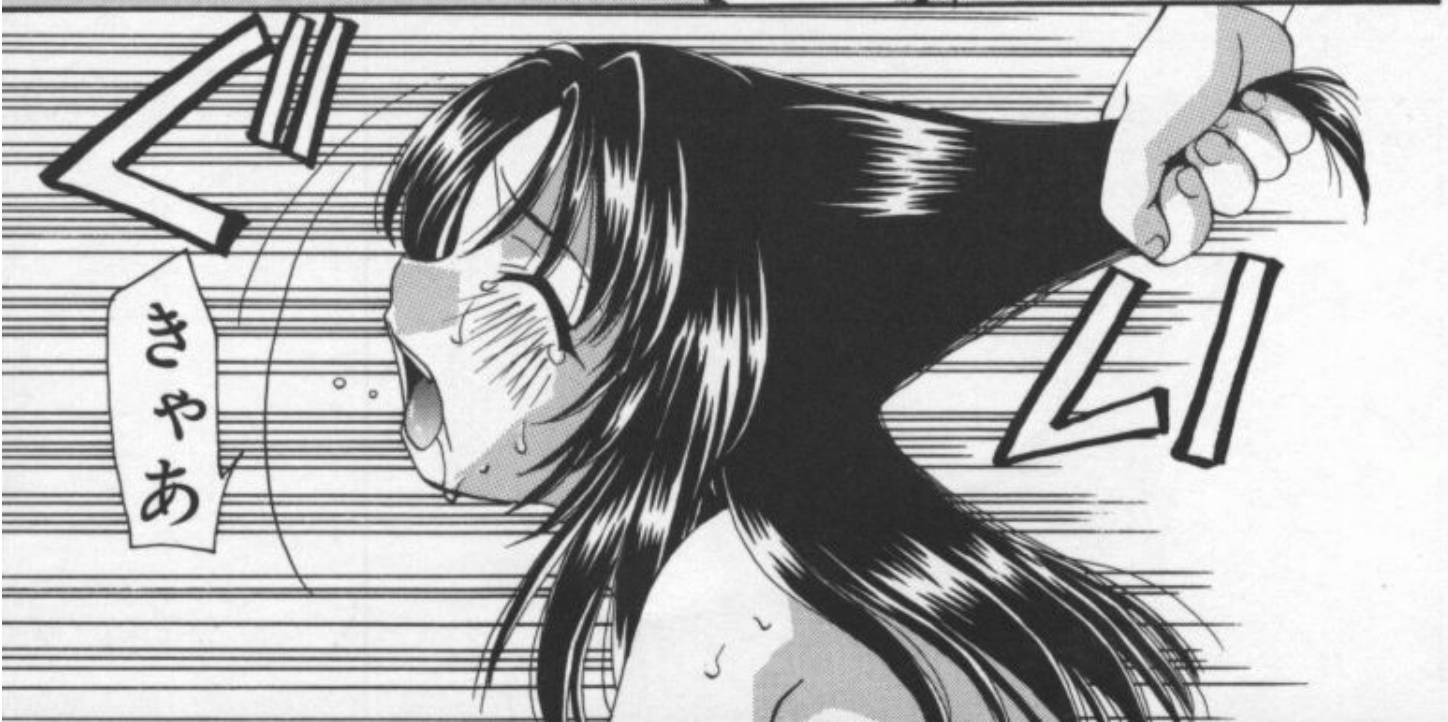
那緒...

あ



.....んんん...

あ...



きやあ

あ





ほら

これで舐めやすくなっただろ？

なっ…!!



やめなさい  
永遠！  
私の言う事が  
聞けないの？

わっ

う…

いいんだよ

見てごらんよ

パンパンに張って  
苦しそうだろ？



永遠

溜まったモノを  
出してあげなよ

でも...

いいんだよ

ンッ

ビクッ  
ビクッ

お前の御主人様は  
那緒じゃない

ダメ...

ビクッ

ほら

イヤ...

ビクッ

やめて...

しゃぶって  
あげなよ

ビクッ

イヤ...  
ダメ...

ビクッ

ビクッ

やめて...

ビクッ







分かるよ  
いきたいん  
だろ？

やあっ

あ

んん…

おつき…

ほら  
いけよ

クワッ

クワッ  
クワッ

ほら！

ムクムク

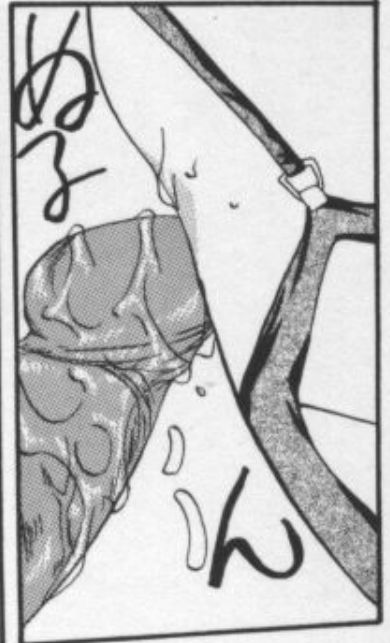
あ...あ...

いやあああつ

ムクムク



.....



あ...!



んんっ

んんっ

んぐっ

んんっ

那緒…



# [CAT'S #6]





んふっ

おちんちん  
.....  
おっき...

んふっ

んふっ

あ!

んぐっ

んっ

!!







おねがいつ…

これ…

これはずしてえっ

ドク  
ドク  
ドク

あ

いつ

あん

ぐわっ

ぐわっ  
ぐわっ  
ぐわっ

おちんちんが…  
おちんちんが苦しいのっ

ぐわっ  
ぐわっ  
ぐわっ



イかせて…

ザーメン  
出させてえっ



おねがいつ

はっ







永遠

ひく ひく

永遠

一緒に  
帰ろう

君は今から  
僕のモノだ

僕の家だよ

どこに?





那緒

泣かないで  
ね？

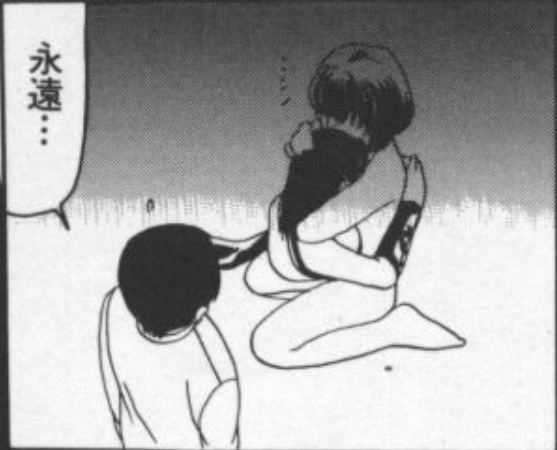


那緒



さよ


さよ




永遠...




あ...



私…あなたが誰か  
知らないけど




だから  
こんな事思うのは  
変かも知れないけど




あなたは本当は  
とても優しい人のような  
気がします…



永遠…



言ったら  
あなたは  
怒るかもしれないけど



私は  
那緒が泣くのは  
嫌なの





私が行って  
那緒が泣くなら

私は那緒の  
そばにいたい

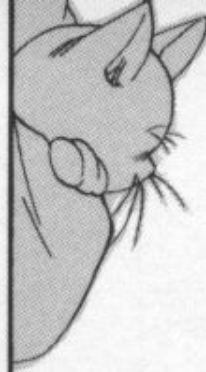


.....

！……そう言えば……

小さい頃  
仔猫が二匹  
捨てられてて……

一匹だけ拾って  
帰ろうとしたら



残った方は  
ものすごく淋しそうに  
泣いてたっけ…

そうか…

彼女達を引き離すのも  
一緒だって事か…

君は今から  
僕のモノだ

那緒

す…

だけど…

あ…

ホロ

ホロ



僕は

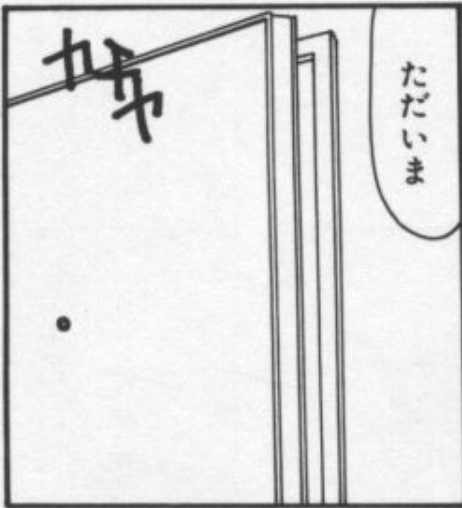
僕のモノだよ  
那緒……

もう一人の僕を  
知ってしまった

二カ月前  
僕は恋人を失った

彼女は二度と  
戻って来なかつたけど  
代わりに二匹の猫を  
手に入れた

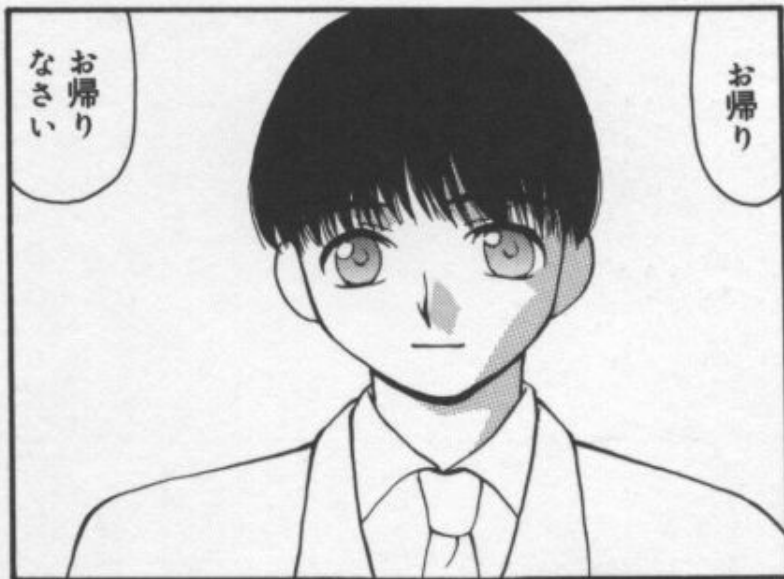




ただいま



そして  
僕は…



お帰り  
なさい



お帰り



今も彼女達と一緒に  
暮らしている

# MISTAKE

前編

私はお兄ちゃんの  
奴隷です





おっ…  
お兄ちゃん…

父さんと母さんが  
旅行に行つた  
その日の晩



お兄ちゃん  
何するの!?





ひあつ  
あ  
や

だめ…  
あつ

お兄ちゃん…

ぐわん

あ…っ

やあんっ!!

私はお兄ちゃんの  
奴隷にされました

他の人なら絶対嫌だけど  
私はお兄ちゃんが好きだった  
から……

そうそう

SEXできて  
ホントはとても  
嬉しかった……

いつみに  
プレゼントが  
あるんだ

でも……



ほら  
これ

ホント?  
何?

キレイだろ?

お前のでかいおっぱいに  
似合うと思ってさ

付けてあげるから  
こっちにおいで

……





ます  
乳首を固く  
しないと

あ…っ

んっ  
んっ



これくらい  
かな

んっ

じゃ  
いくよー



んっ  
んっ



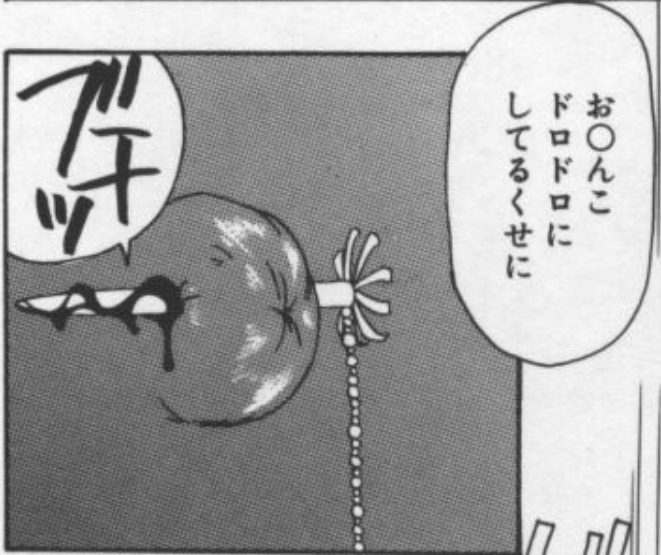
ひっ



おっ…  
お兄ちゃん  
痛い…っ



♀



お〇んこ  
ドロドロに  
してるくせに



いたあいつ



ウンっけ

はま

はま

はま



思ってた  
とおりだ



ふうん…  
やっぱりね



よく似合うじゃ  
ないか

ほら  
いつも  
ひゃっ



欲しいん  
だろ？





んっ

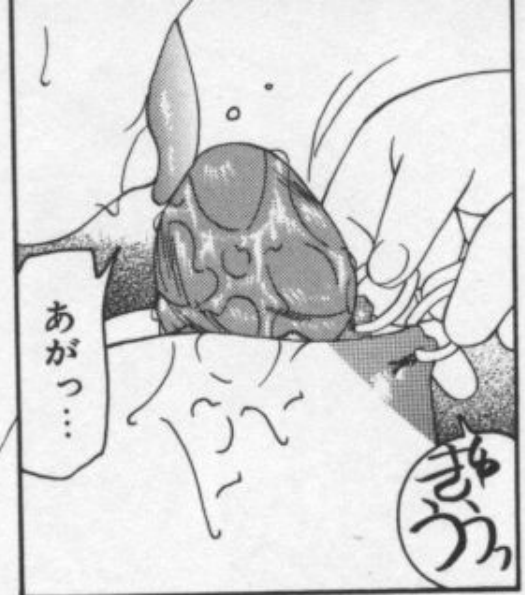
んっぶ  
うっ

んっ

んっ

ひゃっ

んっ





MISTAKE(前編)







びしょ



ほらあ  
なけよおっ

んん

ひいっ!!



そっ...  
そんなっ

ひゃっ

おしい

あうっ

ハメながら  
ぶたれたら  
気持ちいいん  
だろお？

ぽん

ひっ

き...

あはあっ!!



ぽん

おしい

おしい



ああんっ

トヤ!!

あっ

こんなの  
って…

みん  
ん  
ん

…  
こんなの



びゅん

びゅん

ぐりゅん



私はいつも  
お兄ちゃんの  
言いなりです

あ  
待ってえ

いつみー  
はやくしないと  
先に行くぞー

お兄ちゃんは  
変態です

だって…  
お兄ちゃんが  
好きだから…

おっせーよ  
ごめん  
ごめん

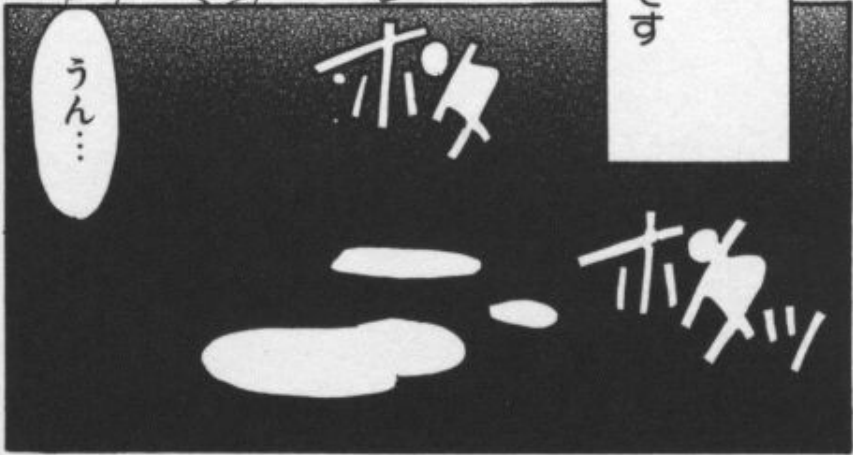


でも…

お兄ちゃんは  
自分の性癖に  
気付いてないみたいです



今度寝坊したら  
おしおきな



うん…

# MISTAKE

(後編)

俺は妹の  
奴隷です

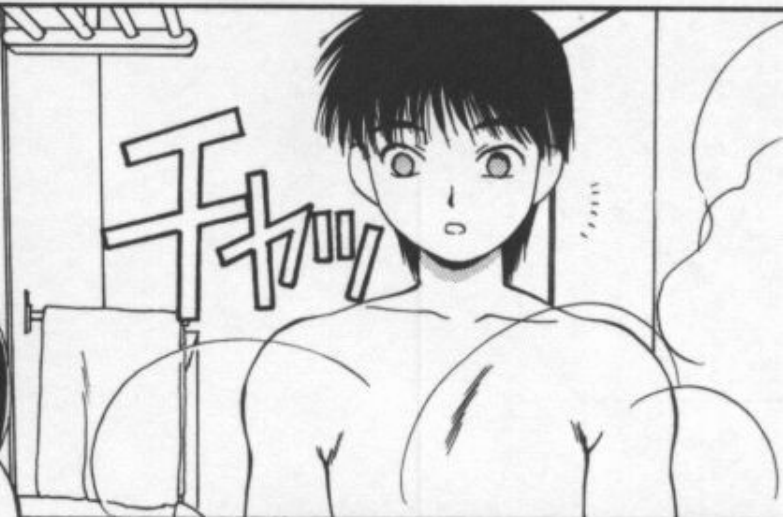




あれは両親が  
旅行に行つて  
二人で留守番してた  
最初の晩



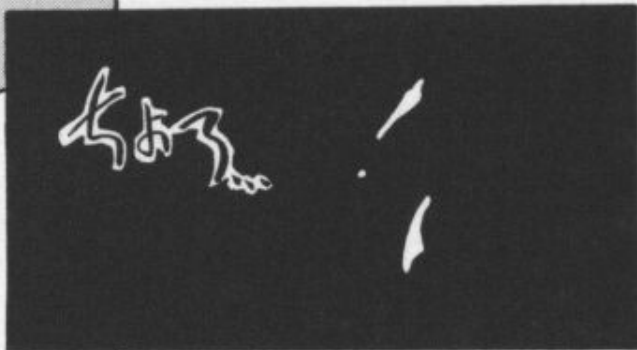
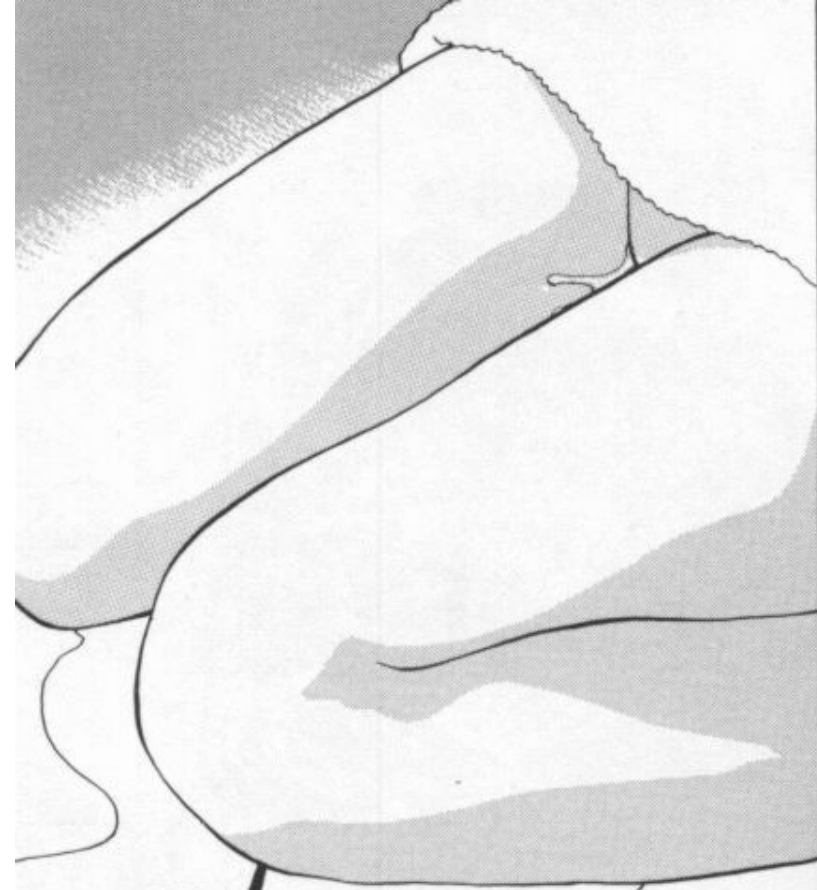
うん



あ…

お…  
お兄ちゃん…





あ...あ...あ...





え…  
ひっ  
ぐま…

ぐま

うえっ…  
んん



きゅ



お兄ちゃん!!

おっ…

ぐま





あはは  
やあつ



お兄ちゃんのおちんちんが…

私の中に…



あ…

お兄ちゃんのこと…

あはは



ひああっ

ひゃ  
か

その日から……



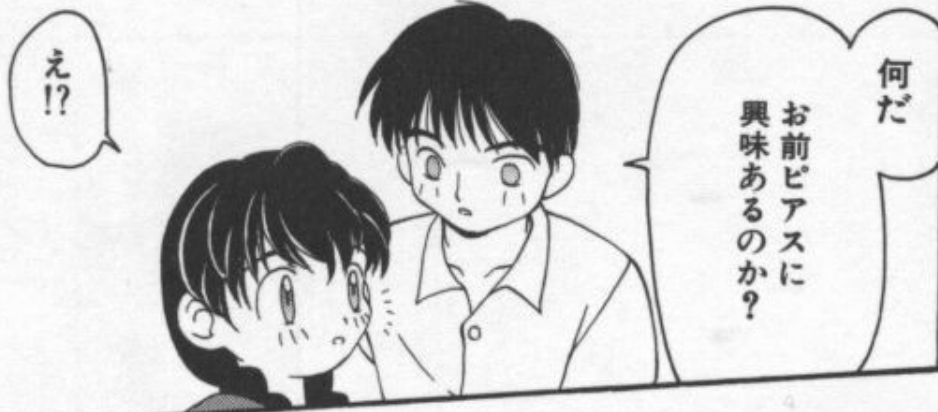
俺はいつみの  
下僕になりました

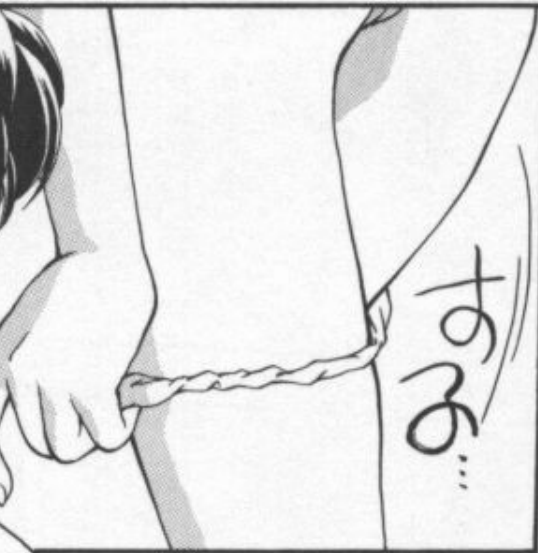
何見てんだよ

あ…

兄妹では  
許されない事だと  
頭の中では  
分かってるけど…







もっただ

アミに乳  
押しつけるんだよ

カキ  
アハ

よおーし

今からここで  
ハメてやる

あ

そんな...  
イヤ...

お前の恥ずかしい格好を  
みんなに見せてやるよ

カキ

カキ

何言ってるんだよ

ま○んぐじゅんじゅん  
してるくせに

あーん

あーん

あーん

ひあん!

あーん

あーん

おしおきで  
何感じてん  
だよ

何だよ  
中まで  
ヌルヌルじゃん

あ……

ひ

あーん



水

なあ

本当は  
好きなんだろう？

こうやって  
外でハメられて  
嬉しいんじゃ  
ないのか？

じゅわ  
じゅわ

びしょ  
びしょ

ちがっ…  
そんな  
こと  
ないっ…

びしょ



あっ

じゃあ何で  
こんなにきゅうきゅう  
締めるんだよ



あわ  
あわ

素直に言えよ  
ヘンタイ

やめるぞ？

きゅん

いやっ

やめないでっ

言うから…  
お願いっ

ぬめりゅん

そうよ  
きもち  
いいの…

きゅん…

はよん

わたし…  
外でおちんちん  
入れてもらえて  
……すごく……

すごく  
おま○こ  
気持ちいいのっ

おねがいつ

もっとおま○こ  
激しくこすってえっ





くっくっ  
くっのおっ

おま○んっ…  
おま○ん  
気持ちいいっ

カッパッ

ひああッ

...ッ

ヒッ

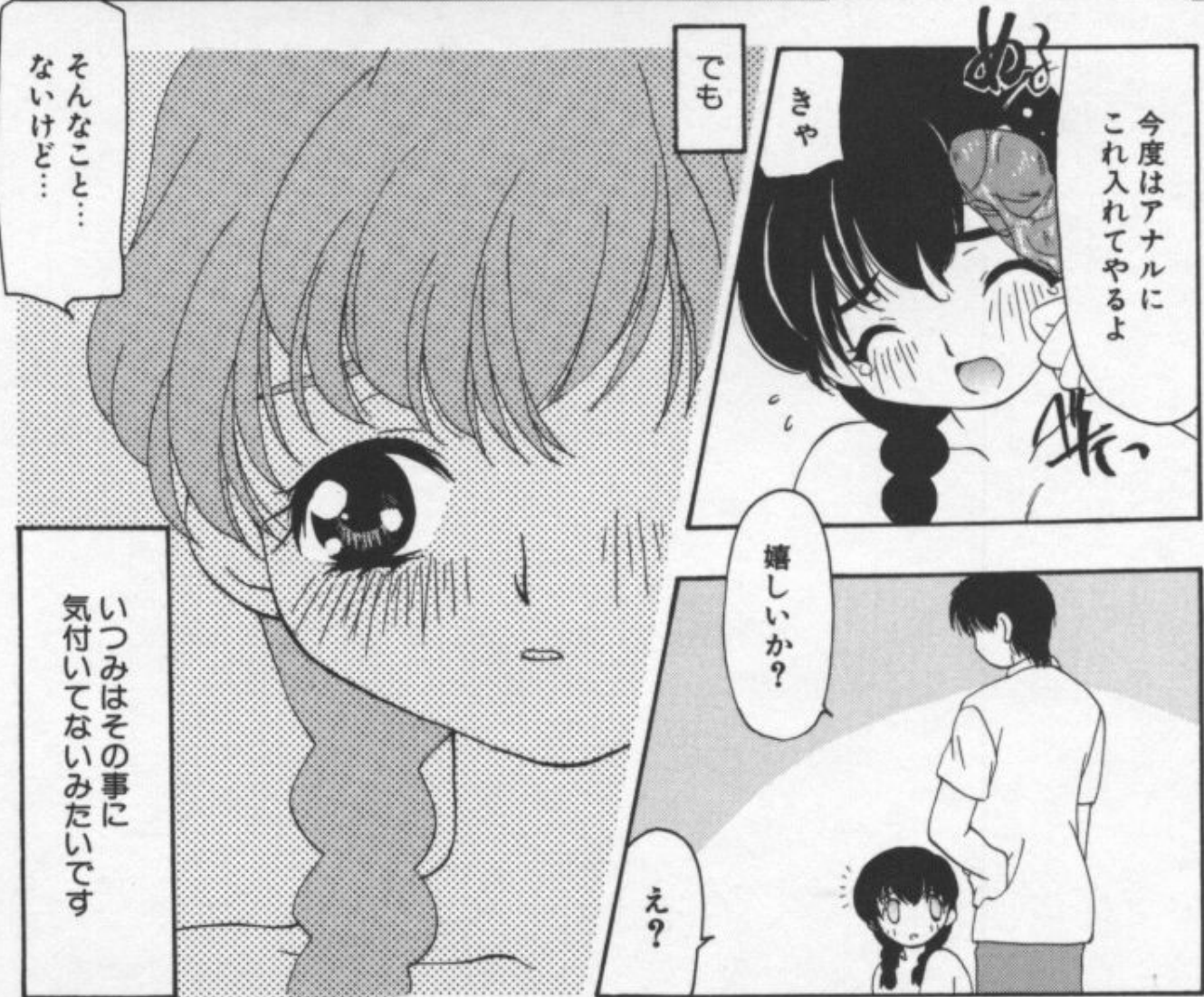
ヒッ

妹は  
変態です



俺はそんな  
変態の妹が大好きなので

サド兄貴を  
演じ続けています



そんなこと……  
ないけど……

いつもはその事に  
気付いてないみたいです

でも

今度はアナルに  
これ入れてやるよ

嬉しいか?

え?

# 「PRIMACY」







もう3日もここに居るのよ...

ねえ...  
お願い...  
おうちに帰して...

あ...  
有村君!?

はっ

お  
元気かあ?

そりゃ  
出来ないなあ

んんっ

お前何か  
忘れてない?



ほら

俺に泣いて  
お願いしたでしょ?

んぶっ

えぶっ

有村君の彼女に  
なりたいたって

ぶっ

んっ

ぬぶっ

んっ

俺はやめとけって  
言ったのに  
お前泣いてすがったっ  
しょ?

ぶぶっ

うぶっ

だからお前は  
ここにいるんだよ



ぶ!!





まだ  
分かってないのか？

お前はここじゃ  
薄汚い  
ただのメス豚  
なんだよ

第一お前  
臭えんだよ

そんな…

きやつ

わは



「おほ」

「おほ」

「おほ」

これで少しは  
キレイになっただろう

とと  
とと



うっ…





じゃあ  
後は任せるよ

好きなように  
していいから



妻

いやあああ!!



うわあ  
こいつ  
マジ汚ねえ

ぐっ



あ…

あ…



ニギハヒ









待ってるよ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

お前のチコークさい  
マンコと肛門になっ

あ

あ

あ

今たっぷり  
俺達のザーメン  
出してやるよ

あ  
あ





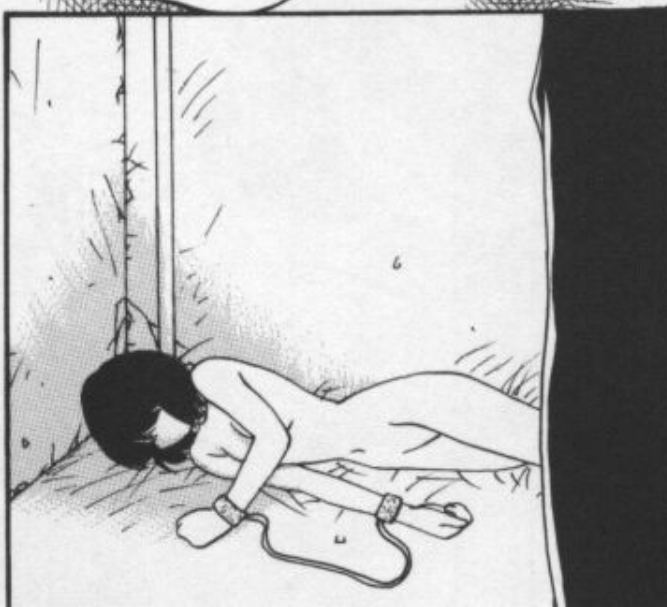
あ

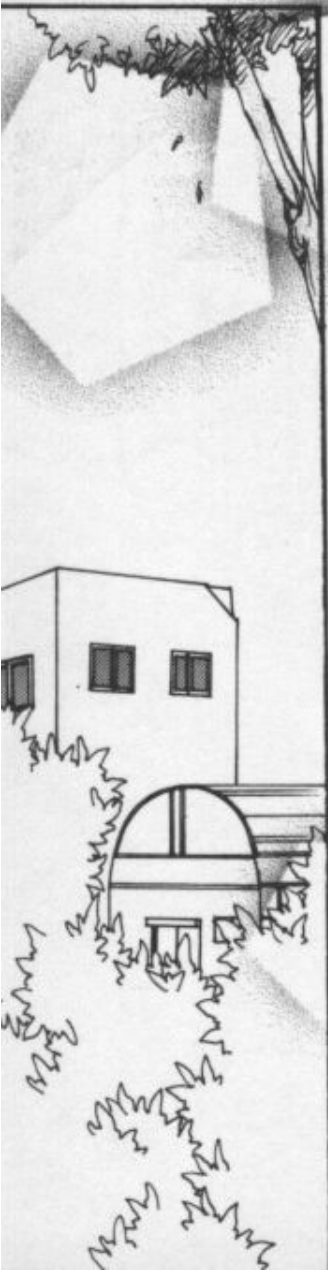
あ

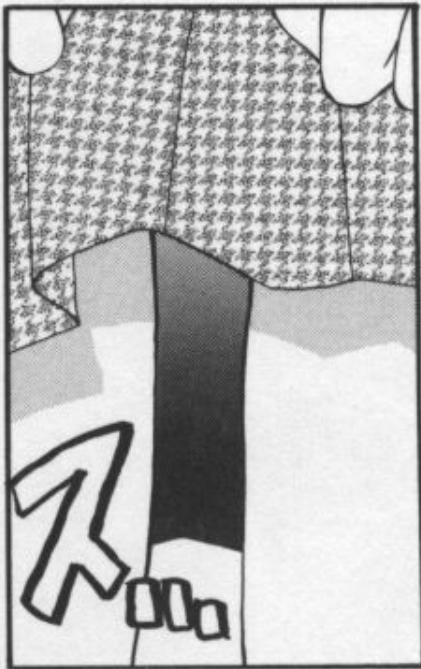
あ

あ

あ







何だよ



有村君!



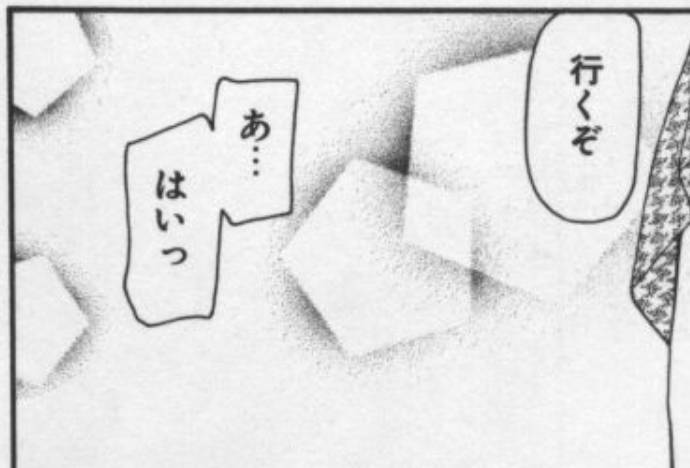
どうか……  
おしおきして  
下さい……

あっ……  
有村俊哉様

私に……  
この薄汚ない  
メス豚に……



……  
いい度胸だね



行くぞ

あ……  
はいっ

家族ゲル





母さん…



今帰りなの？

正行…

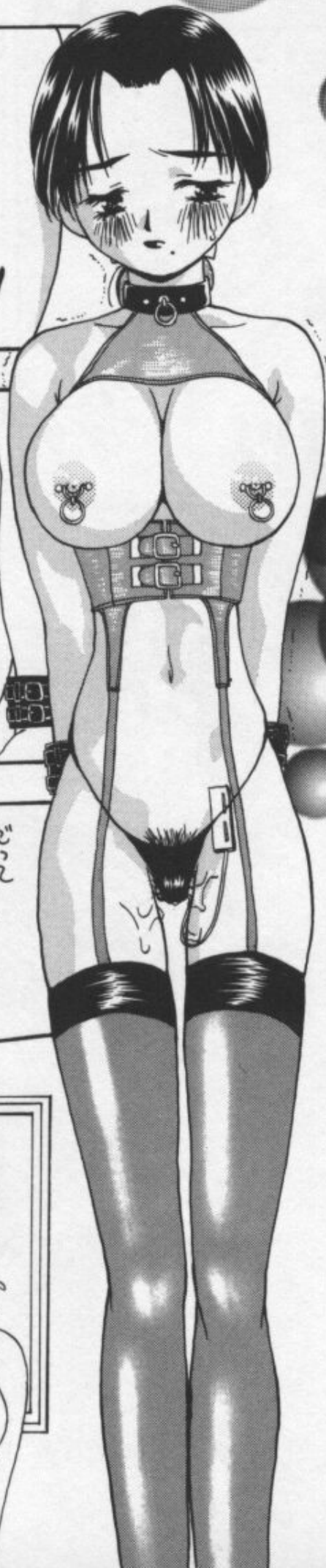
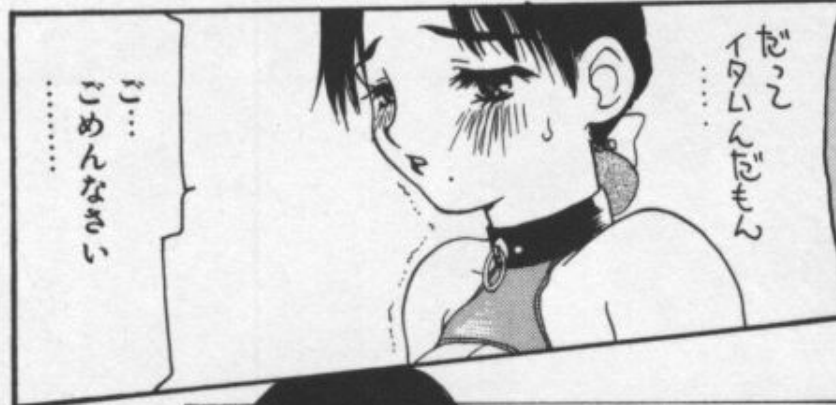


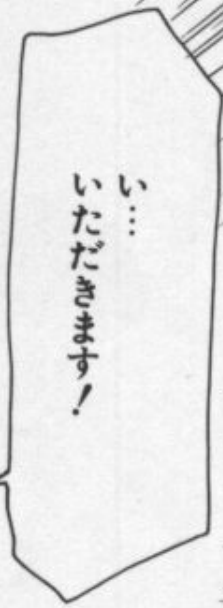
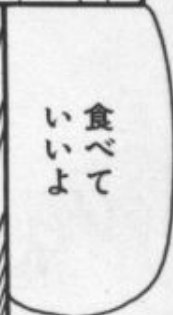
ちゃんと夕飯までに帰ってくるのよ

はい

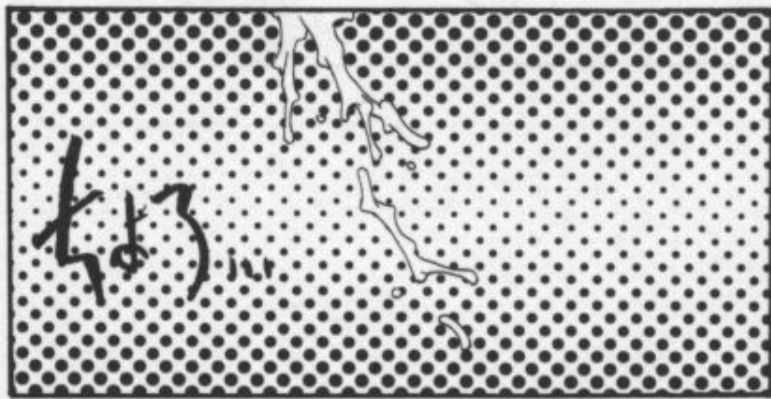


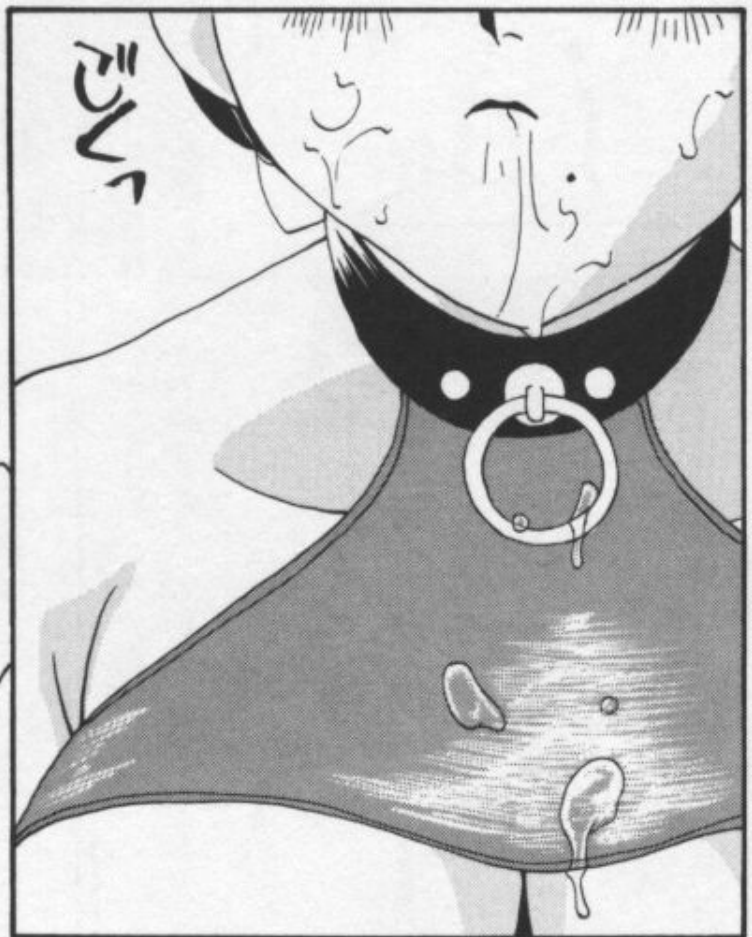














それにしても  
変態だよなあ



自分の息子の  
クソと小便  
欲しがるんだから



だから  
おねがい...  
もっ...

正行の方が...  
正行の方が...  
おいしいわっ



ねえ  
母さん

死んだ父さんのと  
どっちがおいしい?





おんこ

おんこ

おんこ

おんこ

おんこ

ひっ  
あっ

いんっ

いっ...

おんこ

おんこ



どう  
母さん？

お尻の穴  
感じる？



あっ…  
あ…

きゅ…  
きゅ…  
いっ…

あついわ…  
おしり…







もお  
ダメええっ!!

ビビッ

ギョ

おっ  
おっ

あ  
あ  
あ



あ…

おねがい…  
もっど…

ぶ子

ぶ子…

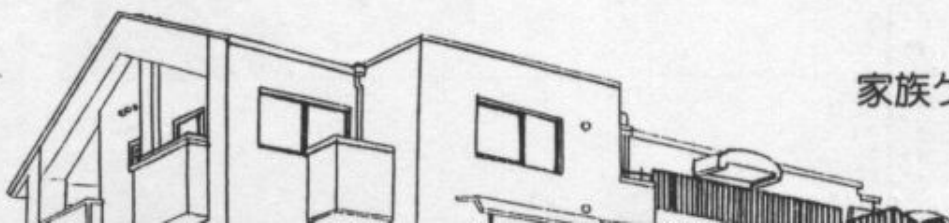
ちようだい…



楽しませて  
あげるよ

ただいま——

もっとな……



作品

単行本収録の台割を見せただいた時、内容が  
全て苦労して仕上げた作品だったので、思わぬ飲んで  
たコヒー吹きそうになりました。

なる... ナイス編集スズキさん... この方向でイけつち4-こと  
ごまね... が... がんは"4まし" 巨乳... 00  
昨年はマジご おみせせごした。

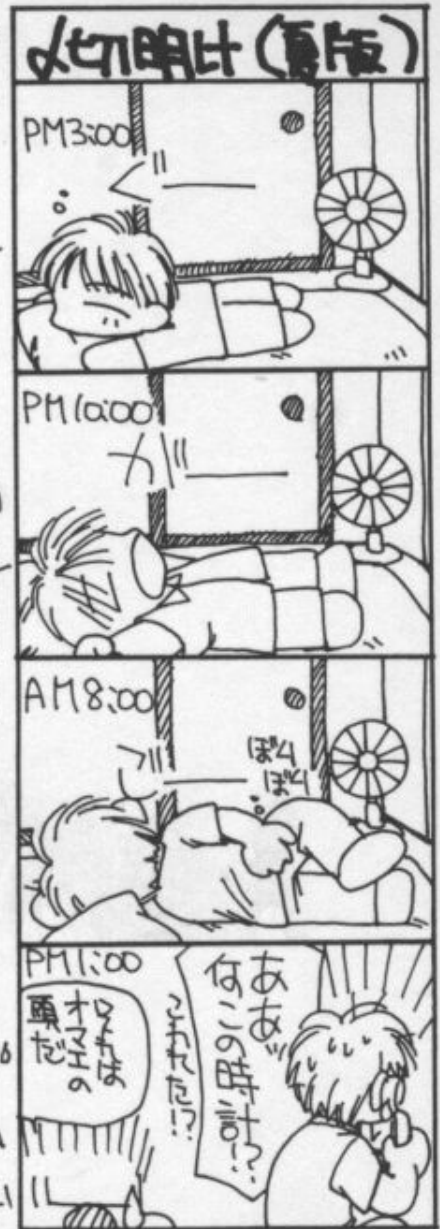
「CATS」といとは、ドイツワイン御存知ですか？  
ドイツ読みで「CATZ」だったと思うのがが。黒猫の  
ラベルのワインなのであけと、この黒猫が描かれたラベル  
のドイツワインは、おいしいと認められたモノにのみ許  
され子ものなので「そうごあ。奏はワインはあまり好きご  
はなしのてあが。この「CATZ」は結構好きごあ。  
黒猫ラベルの由来も結構オシカ(だと思ふ)ごあ。

皆様もぜひぜひ1度  
御試飲を。

あ、脱線してしま...

ごめ、これから奏のED  
漫画、よろしくおねがい  
します。

長崎屋某氏、カ...  
ナカ... あい... とら...



え、またもや  
猫耳を描く  
え、え、  
かな...?



00.7.23



●初出一覧●

【CAT'S# 1～6】 2000年 愛！姫 1月号～6月号

【MISTAKE（前・後）】 1999年 愛！姫 7月号・8月号

【PRIMACY】 1999年 愛！姫 10月号

【家族ゲーム】 1999年 愛！姫 5月号

CATS ON THE BLACK CAGE

LE-COMICS

発行 2000年9月30日

著者 奏 亜希子

発行者 鈴木健一

印刷所 凸版印刷株式会社

発行所 株式会社 **フロム出版**

発売元 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-10-1  
電話03(3263)2801(代) 振替00150-2-184058

株式会社 **東京三世社**

乱丁・落丁はおとりかえします